

令和3年度第2回鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会

日 時	令和3年12月16日(木) 10:00~11:40
場 所	鹿児島市水道局 5階 大会議室
出席者	鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員 10名
市出席者	水道事業及び公共下水道事業管理者、総務部長、水道部長、下水道部長、水道局各課長、関係職員
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 管理者あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 水道事業、公共下水道事業及び工業用水道事業の令和2年度決算 (2) 鹿児島市上下水道事業経営計画に掲げる実現方策の令和2年度実施状況 (3) 鹿児島市上下水道ビジョン、第2期鹿児島市上下水道事業経営計画のパブリックコメント手続実施結果及び経営審議会が出された意見への対応 4 その他 5 閉会
主な内容等	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ禍による一時的な要因を除き、今後の収益と純利益の見込みをどう考えるか。 <ul style="list-style-type: none"> →収益は年々減少傾向であることや、施設の更新等の維持管理費の増加も見込まれていることから、将来的には純利益は縮小していく見込みである。 2. 耐震化と老朽化対策は技術的にかぶるものがあるか、別物か。 <ul style="list-style-type: none"> →水道管路の耐震化は、計画に基づき地震時に重要となる基幹管路や、病院までのルートを優先して布設替してきたものである。一方、老朽管更新は、老朽化してきて漏水がある等のパイプの取替をしていくもので、布設替の時に耐震性のあるパイプを使っている。 3. 下水道の有収率の減の要因は何か。 <ul style="list-style-type: none"> →本市は分流式で污水管と雨水管は別だが、大雨時に雨水が污水管に流入することがあり、有収率に影響する。昨年度は雨量が多かったため、有収率が下がっている。 4. 民間委託の推進について「公営の部分を民間に」ということを視野にいれているか。単に効率的な部分で民間のいいところを取り入れようという考えか。 <ul style="list-style-type: none"> →内容によっては、民間でできるものは民間にお願いすることは大切なところであり、経営の観点からも考えていきたいが、運営権を含めた本体の民間委託(コンセッション)という考えはない。